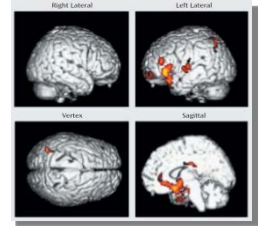
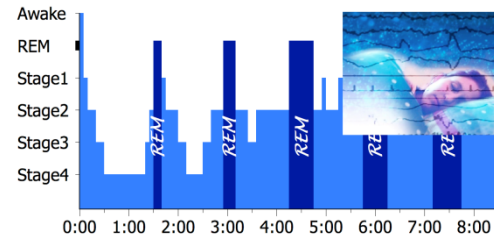


睡眠・覚醒障害の病態解明と治療展開

個々の症状にマッチしたより効果的な睡眠医療をめざして



大規模疫学調査で国内の睡眠問題の実態解明

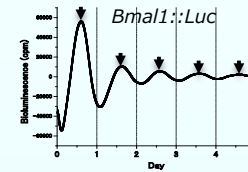
- 日本人の **3人に1人**が睡眠問題を抱える
- 睡眠問題による経済損失（**3兆円/年**）
- 向精神薬の使用実態（**多剤併用、高力価、長期使用など**）
- 認知症、精神疾患、発達障害に合併する睡眠問題（**残遺不眠、昼夜逆転、精神行動障害、生活習慣病リスクなど**）
- 社会的ジェットラグ、夜型生活によるうつ病、肥満リスクなど

睡眠障害の診断・治療ガイドラインの策定

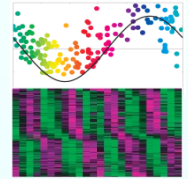
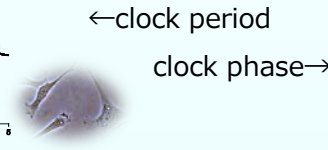
- 睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン
- 睡眠障害治療薬の臨床試験ガイドライン（新薬の治験ガイドライン）
- 睡眠医療専門機関の連携ガイドライン
- 睡眠医療および睡眠研究用プラットフォーム Research Platform for Advanced Sleep Medicine; PASM) の構築
- 種々の睡眠衛生指導要綱、臨床尺度の作成

基盤・臨床研究

- 人の生物時計の周期や位相の精密測定システムの開発
- 睡眠障害の病態生理、分子遺伝学的研究

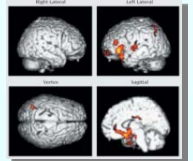


末梢細胞内の時計遺伝子転写リズム



血中振動物質のメタボローム解析

- 人の睡眠、気分、情動調整に関わる神経基盤の解明（脳機能画像、形態画像、Real time fMRI）
- PASMを用いたバイオリソースバンクの構築
- 各種ウェアラブルデバイスの開発と社会実装



- 睡眠障害およびQOL障害の診断・治療水準の向上、均てん化
- 高精度診断と治療最適化によるオーダーメイド医療の提供
- 睡眠障害の病態解明による診断、病態、遺伝子情報のレポジトリの形成
- 適切な睡眠習慣による精神健康、疾病予防、事故防止、発達・学習の支援

